

〔調査報告〕

## 臼杵ケーブルネットにみる「公設民営」による運営

### Exploring the benefits of cooperation between Usuki Cable Net's “Public-Private Management “

村 上 信 子<sup>1)</sup>

Nobuko Murakami

#### ABSTRACT

According to the Ministry of Internal Affairs and Communications (MIC), cable television networks have been installed throughout Japan since the early 1955s to eliminate challenges when broadcasting. The number of cable TV household subscriptions has been increasing year on year, reaching over 31 million by the end of 2022, with an average household viewing rates of approximately 52%. Nevertheless, there are variations in the viewing rates from just under 6% in Fukushima Prefecture compared to the substantial rate of 93% in Tokushima Prefecture. Furthermore, there are differences in management strategies and business conditions.

Usuki City municipality and local businesses are continuously upgrading the infrastructure and hardware, such as the fiber-optic networks and cables, studios, and other buildings, while leaving the program management and programming to the private sector. One of the features of this public-private management system is called "Usuki Sekibutsu Net. It' s an ID card issued by the local government with citizen' s personal information such as medical, pharmacy, and nursing care information that can be shared with hospitals and other institutions so that the data can be utilized. Usuki Cable TV has been characterized by its cooperative partnership with medical associations, local governments, and the private sector.

This paper will focus on a cable TV station in Usuki City in Oita Prefecture that has adopted a public-private management system.

#### 1. はじめに

総務省によると、ケーブルテレビ（以下 CATV : Cable Television）は、テレビジョン放送の難視聴解消を目的として、昭和30年代当初より、全国各地で設置された。1955年（昭和30年）6月には、群馬県の伊香保温泉に共同受信施設が設置され、東京のテレビジョン放送の再送信が行われた。

これが日本におけるケーブルテレビの始まりとされている。その後、首都圏を中心にこれらケーブルテレビのブームが起り多くの地域で展開された。CATV は、サービスを提供する地域においてケーブルテレビ局のセンターと地域内の一軒一軒の家庭を光ファイバーケーブルや同軸ケーブルで結び、多様なサービスを提供するものである。<sup>2)</sup>

筆者が在住する九州には福岡県14局、佐賀県15局、長崎県17局、熊本県16局、大分県21局、宮崎県10局、鹿児島県15局の、合わせて108局（令和4年9月1日現在）が存在する。中でも大分県は21局と最多である。

一方、ケーブルテレビの普及率に注目すると福岡県は、46.2%、佐賀県 53.9%、長崎県 35.4%、熊本県 29.9%、大分県 70.0%、宮崎県 42.1%、鹿児島県 7.9%と、ここでも大分県が最も高い普及率となった。全国平均が 52.5%であることから大分県が突出して高いことが伺える。

## 2. 本稿の目的と意義

大分県は基地局数そして普及率ともに九州の中で突出して高いことがわかった。本稿では県内のケーブルテレビ局の中でも、公設民営運営、つまり、「設備などのハード面は自治体が構築し、番組制作などの運営は民間に任せる」というシステムを採用している臼杵市を研究対象とする。多くの自治体を目指す情報格差是正、つまり地方にいながらも都会と同じサービスを提供することのみならず、ネットワークシステムを使って医療や介護を結んだネットワークを構築するというユニークな取り組みを実践し多くの市民から支持されているという現状からどういった現実が見えてくるのかを考える。

臼杵市のホームページによると「臼杵市は、大分県の東南部に位置し、豊予海峡方面へ楕円状に細長く伸びた地形。東は豊後水道に面した臼杵湾に臨み、南西部は鎮南山・姫岳など比較的険しい山稜が津久見市、佐伯市と接する。

河川は、野津川が南西部を東西に流れ、臼杵川・末広川・熊崎川が臼杵湾に注ぎ、これらの河川沿いには水田が、野津地域の北側には畑地が広がる。

気象は、瀬戸内海型と南海型が混在し、年間平均気温は 15～17 度、平均降水量は 1,500～1,800 ミリメートルで、温暖多雨の自然環境に恵まれている。」

---

1) 大分県立芸術文化短期大学 情報コミュニケーション学科  
メディアコース専任講師 e-mail:murakami@oita-pjc.ac.jp

2) 一般社団法人ケーブルテレビ連盟の定義



(出典：臼杵市ホームページ)

人口は 2024 年 2 月 1 日現在で 35,558 人である。  
(内訳として 男 16,924 人、女 18,634 人)

### 3. 調査方法

本稿で対象とするのは、大分県臼杵市に本社を置く臼杵ケーブルネット株式会社（以下、臼杵ケーブルと表記）である。2001年（H13）4月1日にケーブルテレビを開局し、現在ではCATVの加入者割合は臼杵市民全世帯の8割を超え、全国におけるCATV普及率や大分県におけるCATV普及率を上回っている。2023年4月現在の総視聴世帯数は13,708世帯で加入率は84.7%である。株主の比率として筆頭にあるのが大分市に本社を置く大分ケーブルテレコム株式会社が51.33%、臼杵市が23.33%、以下、大分県内の金融機関、臼杵市内の民間企業と続く。

年	2014(H26.4)	2015(H27.4)	2016(H28.4)	2017(H29.4)	2018(H30.4)	2019(H31.4)	2020(R2.4)	2021(R3.4)	2022(R4.4)	2023(R5.4)	備考
総視聴世帯数	12,752	12,793	12,814	12,793	13,152	13,185	13,229	13,234	13,139	13,078	
人口世帯数	15,410	15,372	15,374	14,893	15,044	14,990	15,004	14,872	14,523	14,474	市報より
加入率	78.2%	78.7%	78.7%	82.3%	81.8%	82.5%	82.6%	83.5%	84.7%	84.7%	

## 株主比率

大分ケーブルテレコム株式会社	51.33%
臼杵市	23.33%
株式会社大分銀行	5.00%
株式会社豊和銀行	5.00%
臼杵運送株式会社	3.33%
富士人醤油株式会社	3.33%
フンドーキン醤油株式会社	3.33%
株式会社久家本店	3.33%

放送サービスについては、コミュニティチャンネルによる自主放送や、地上デジタル（在福岡の3チャンネル FBS 福岡放送、TNC テレビ西日本、テレ Q テレビ九州）、BS デジタル放送、専門多チャンネル放送等を行っている。通信サービスでは、大分ケーブルテレコム株式会社が光ケーブルを用いたインターネットサービスや電話サービスを行っている。

臼杵ケーブルですべてのコンテンツについて担当する技術部兼メディアコンテンツ部部長の糠塚学氏によると、毎週水曜日 12 時よりイベント情報などを紹介するバラエティ番組「うすき大好き」を生放送、地域のニュースなどを紹介する「ふるさとトピックス」を毎日 17 時に更新している。とりあげるトピックスは月平均約 30 本（1 日あたり 1 本）である。また、臼杵市からの行政情報を紹介する「広報臼杵」は毎週更新し市民への情報提供を行っている。次頁で、タイムテーブルを添付する。



白杵ケーブルネットにみる「公設民営」による運営

タイムテーブル

時間	月	火	水	木	金	土	日	物産	
6:00	お天気ch								6:00
6:30	ほっとさん健康体操								6:30
7:00	ふるさとトピックス 週間編	うすき大好き! コーナー集	広報うすき	うすき大好き!	ふるさとトピックス	うすき大好き!	ふるさとトピックス 週間編	7:00	
7:30			ふるさとトピックス		広報うすき			7:30	
8:00	うすき大好き! コーナー集	ふるさとトピックス	NCN制作番組 (中津)	PickUp!ケーブルテレビ	うすき大好き!	広報うすき	うすき大好き! コーナー集	8:00	
8:30		広報うすき		ふるさとトピックス		大分の宝 磨産仏		8:30	
9:00	SHOPチャンネル								9:00
9:30									9:30
10:00	広報うすき ※毎週月曜日10時00分更新								10:00
10:30	ほっとさん健康体操								10:30
11:00	ふるさとトピックス 週間編	KCV制作番組 (日田)	ふるさとトピックス	TCT制作番組 (竹田)	ひるドキ!!おいた (JCOM大分)	PickUp!ケーブルテレビ	広報うすき	11:00	
11:30			広報うすき			ふるさとトピックス	おまつりニッポン	11:30	
12:00	うすき大好き! コーナー集		うすき大好き! <生放送>	うすき大好き!			うすき大好き! コーナー集	12:00	
12:30								12:30	
13:00	広報うすき	ふるさとトピックス	社観劇場	友チャリ	広報うすき	豊後大野CATV制作番組 (豊後大野)	ふるさとトピックス 週間編	13:00	
13:30	おまつりニッポン	社観劇場	ふるさとトピックス	広報うすき	社観劇場			13:30	
14:00	ふるさとトピックス 週間編	CTB制作番組 (別府・日出)	大分の宝 磨産仏	CTB制作番組 (別府・日出)	うすき大好き!	広報うすき	きつき音楽観	14:00	
14:30			広報うすき			ふるさとトピックス		14:30	
15:00	ほっとさん健康体操								15:00
15:30	友チャリ	PickUp!ケーブルテレビ	おまつりニッポン	社観劇場	ふるさとトピックス	おまつりニッポン	広報うすき	15:30	
16:00	うすき大好き! コーナー集	広報うすき	PickUp!ケーブルテレビ	ふるさとトピックス	KDT制作番組 (杵築)	広報うすき	うすき大好き! コーナー集	16:00	
16:30		キンコンカンコン!	社観劇場	広報うすき		社観劇場		16:30	
17:00	ふるさとトピックス ※月～金 17時00分更新					ふるさとトピックス	広報うすき	17:00	
17:30	ほっとさん健康体操								17:30
18:00	うすき大好き! コーナー集	おまつりニッポン	うすき大好き!	ふるさとトピックス	うすき大好き!	広報うすき	うすき大好き! コーナー集	18:00	
18:30		広報うすき		おまつりニッポン		ふるさとトピックス		18:30	
19:00	ふるさとトピックス	うすき大好き! コーナー集	広報うすき	うすき大好き!	PickUp!ケーブルテレビ	うすき大好き!	社観劇場	19:00	
19:30	社観劇場		おまつりニッポン		ふるさとトピックス		広報うすき	19:30	
20:00	広報うすき	ふるさとトピックス	うすき大好き!	大分の宝 磨産仏	おまつりニッポン	キンコンカンコン!	ふるさとトピックス 週間編	20:00	
20:30	PickUp!ケーブルテレビ	社観劇場		ふるさとトピックス	広報うすき	おまつりニッポン		20:30	
21:00	おまつりニッポン	友チャリ	ふるさとトピックス	広報うすき	うすき大好き!	CTS制作番組 (佐伯)	うすき大好き! コーナー集	21:00	
21:30	広報うすき	おまつりニッポン	キンコンカンコン!	社観劇場				21:30	
22:00	ふるさとトピックス	うすき大好き! コーナー集	国東CATV制作番組 (国東)	うすき大好き!	広報うすき	うすき大好き!	おまつりニッポン	22:00	
22:30	社観劇場				ふるさとトピックス		社観劇場	22:30	
23:00	BT-net制作番組 (豊後高田)	ふるさとトピックス	うすき大好き!	広報うすき	おまつりニッポン	社観劇場	ふるさとトピックス 週間編	23:00	
23:30		広報うすき		おまつりニッポン	社観劇場	ふるさとトピックス		23:30	
0:00	SHOPチャンネル(0:00～6:00)								24:00

3-1 白杵市ケーブルネットワークの歴史 (白杵市提供)

●1999年度 (平成11年度)

○新世代ケーブルテレビ施設整備事業

ケーブルネットワーク施設整備

○地域イントラネット基盤整備事業

ふれあい情報センター整備

★平成11年12月27日白杵ケーブルネット株式会社設立

●2000年度 (平成12年度)

○街中にぎわい創出事業

サーラ・デ・うすき<sup>3)</sup> 整備

○新世代ケーブルテレビ施設整備事業

★2001年（平成13年）4月1日ケーブルテレビ開局

●2001年度（平成13年度）

○新世代ケーブルテレビ施設整備事業

★平成13年6月1日インターネット実験開始

★平成14年3月3日医師会へインターネット貸出

●2004年度（平成16年度）

★4月20日電気通信事業者取得

★6月1日大分ケーブルテレコム株式会社とインターネット電気通信役務契約締結

★2005年度（平成17年）1月1日臼杵市、野津町合併

大分県によると、本県では、市町村合併が進み、平成16年4月に58あった市町村が、平成17年4月1日には25市町村、平成18年3月31日には18市町村となりました。全国的には、第5位の市町村数の減少率となり、市町村数では4番目に少ない県となる。

---

<sup>3)</sup>「サーラ」は、ポルトガル語で「居間」。2016年（H28年10月）に「サーラ・デ・うすき」は「居間」としての「憩い」「集い」に加えて、「臼杵の台所」としての「食の情報発信・継承」「チャレンジ」をテーマとした施設にリニューアル。

「サーラ・デ・うすき」のホームページ

<https://www.city.usuki.oita.jp/categories/shimin/shisetu/kanko/sala/>

○合併協議の経緯（大分県のHPから一部抜粋）

- 平成 14 年 7 月 1 日 任意合併協議会設置
- 平成 15 年 3 月 1 日 法定合併協議会設置 (H15.2.3 野津町が大野郡任意協より離脱)
- 平成 16 年 1 月 27 日 合併協定書調印
- 平成 16 年 1 月 30 日 市町村議会議決
- 平成 16 年 3 月 29 日 知事への合併申請
- 平成 16 年 6 月 22 日 県議会議決
- 平成 16 年 7 月 5 日 知事決定
- 平成 16 年 7 月 7 日 総務大臣への届出
- 平成 16 年 7 月 26 日 官報告示
- 平成 17 年 1 月 1 日 新市誕生

○合併協定の主な内容

合併方式	新設合併
合併期日	平成 17 年 1 月 1 日
新市の名称	臼杵市
新市の事務所(庁舎)の位置	現市役所の位置。両庁舎を臼杵庁舎、野津庁舎とする。
議会議員の定数及び任期の取扱い	在任特例 38 人(H18.4.26 まで)。特例後の定数は 26 人とし、最初の選挙は旧市町単位で選挙区を設置する。
新市建設計画における新市の将来像	「日本の正しいふるさと」へ！ ～失ってはならない日本の美風を残し人々が自分らしい心豊かな人生を無理なく楽しく生きることができる世界に誇れる「夢」共同体～

○関係市町村の概要

市町村名	人口 [単位:人] (県内に占める割合)	面積 [単位:知拜] (県内に占める割合)	議員定数
臼杵市	35,786 (2.9%)	151.83 (2.4%)	22
野津町	9,700 (0.8%)	139.19 (2.2%)	16
合計	45,486 (3.7%)	291.02 (4.6%)	38

◇人口は H12 国調、面積は H13 国土地理院公表

- 2005 年度 平成 17 年度
  - 新世代ケーブルネットワーク施設整備事業（旧野津町）
  - ★白杵市医師会立市民健康管理センターとヘルスアップモデル事業用に専用線整備
  
- 2006 年度 平成 18 年度
  - ★平成 18 年 4 月 1 日野津地域ケーブルテレビ開局
  
- 2007 年度 平成 19 年度
  - ★白杵市医師会地域医療システム連携構想
  - ★乙見地区へケーブル網を活用し携帯電話不感地域解消事業
  
- 2008 年度 平成 20 年度
  - 地域情報通信基盤整備推進交付金  
自主放送 HD 化
  
- 2009 年度 平成 21 年度
  - ★白杵市内携帯電話不感地域解消事業  
中ノ川、下忠野、上宮本、川原内、下西神野、上西神野、白岩西、白岩東、須久保  
専用光ファイバ整備
  
- 2010 年度 平成 22 年度
  - ★白杵市ケーブルネットワーク事業指定管理（第 1 回目）
  
- 2011 年度平成 23 年度
  - ★平成 23 年 7 月 24 日正午、地上アナログ放送終了



臼杵ケーブルネット株式会社の外観



臼杵ケーブルネット株式会社のサブ（副調整室）

2011年（H23）版の「情報通信白書」によると、総務省では、通信・放送分野におけるデジタル化の進展に対応した制度の整理・合理化を図るため、各種の放送形態に対する制度を統合し、無線局の免許及び放送業務の認定の制度を弾力化する等、通信・放送の法体系の見直しを60年ぶりに行った。趣旨は「通信・放送分野におけるデジタル化の進展に対応した制度の整理・合理化を図るため、各種の放送形態に対する制度を統合し、無線局の免許及び放送業務の認定の制度を弾力化する等、放送、電波及び電気通信事業に係る制度改正を行うというものである。主な改正事項として（1）放送法改正関係、（2）電波法改正関係、（3）電気通信事業法改正関係が挙げられる。この中には、

- ・放送の参入に係る制度の整理・統合、弾力化
- ・マスメディア集中排除原則の基本の法定化
- ・通信・放送両用無線局の制度の整備
- ・免許不要局の拡大などがあり、施行期日は平成23年6月30日である。

上記の改正により、これまで「有線テレビジョン放送法」下にあったケーブルテレビ局は、地上波テレビ局と同様に放送法に服することとなった。

●2012年度 平成24年度

- ★臼杵市内携帯電話不感地域解消事業
- ★公設民営化へ本格検討
- ★伝送路強じん化事業設計開始

●2013年度 平成25年度

- 地域公共ネットワーク等強じん化事業費補助金  
臼杵地域伝送路強じん化及び高機能化事業（第1工区）
- ★臼杵市ケーブルネットワーク事業指定管理（第2回目）
- ★臼杵ケーブルネット株式会社の株をOCTへ売却

●2014年度 平成26年度

- ★臼杵地域伝送路強じん化及び高機能化事業（第2工区）
- ★うすき石仏ねっとへ伝送路貸出

●2015年度 平成27年度

- ★臼杵地域伝送路強じん化及び高機能化事業（第3工区）
- ★うすき石仏ねっと運営協議会へ貸出変更

●2016年度 平成28年度

- ★公設民営へ完全移行
- ★臼杵地域伝送路強じん化及び高機能化事業（第4工区）

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律（平成26年法律第51号）の施行に伴う放送法の一部改正により、辺地共聴施設4）等の小規模な共聴施設により行われる地上テレビジョン放送等の再放送を「小規模施設特定有線一般放送」と規定し、その業務に関する事務・権限について、平成28年4月1日に総務大臣から都道府県知事に移譲。

●2017年度 平成29年度

- ★臼杵地域伝送路強じん化及び高機能化事業（第5工区）

●2018年度 平成30年度

- ★臼杵地域伝送路強じん化及び高機能化事業（第6工区）

●2019年度 平成31・令和元年度

- ケーブルテレビ事業者の光ケーブル化に関する緊急対策事業
- 臼杵地域伝送路強じん化及び高機能化事業（第7工区）（野津第1工区）

●2020年度 令和2年度

- ケーブルテレビネットワーク光化による耐災害性強化事業
- 無線システム普及支援事業
- 臼杵地域伝送路強じん化及び高機能化事業（第8工区）（野津第2工区）

---

4) 放送電波が山や丘陵によって遮られる地域に対し、難視聴解消対策として設置された施設

●2021年度 令和3年度

★J-COM プランを追加

○2020年度 令和2年度からの繰越事業

無線システム普及支援事業

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

臼杵地域伝送路強じん化及び高機能化事業（野津第3工区）

#### 4. 本研究の位置づけ

総務省によると、ケーブルテレビ加入世帯数は年々増加し、2022年度末には約3,162万平均世帯普及率は約52.5%に達している。とはいえ、普及率が5.8%の福島県から普及率93%の徳島県までバラツキがみられ、運営方法や経営状態もそれぞれ異なる。公設民営で取り組む臼杵市。普及率が高いのは大分で視聴できない福岡の民放テレビ局を視聴できるというのが大きな理由である。

##### 4-1 「石仏ねっと」とは

「石仏ねっと」は「どこに住んでいてもその人にとって適切な医療・介護サービスが受けられる社会へ」をテーマに臼杵市と医師会、歯科医師会、薬剤師会などが参加して作られるネットワークである。2003年（平成15年）3月から医師会が検査データを閲覧する実験を開始し、その5年後の2008年（平成20年）3月を稼働を開始した。

- ▶H15年3月 ・医師会地域医療情報ネットワーク実験開始（検査データ閲覧）
- ▶H20年3月 ・「うすき石仏ねっと」稼働
- ▶H24年4月 ・うすき石仏ねっと部会（医師会プロジェクトチーム）発足  
うすき石仏ねっと勉強会（医師会、臼杵市共同）
- ▶H25年3月 ・在宅医療連携拠点事業（訪看連携開始）
- ▶H26年10月 ・調剤薬局連携開始
- ▶H26年12月 ・福祉施設連携開始（一部の介護事業所連携開始）
- ▶H27年4月 ・「うすき石仏ねっと運営協議会」発足
- ▶H27年7月 ・歯科医院連携開始
- ▶H27年10月 ・消防署通信指令室にて運用開始
- ▶H28年1月 ・介護事業所連携開始
- ▶H28年4月 ・臼杵市役所保険健康課端末設置
- ▶H28年7月 ・健診データ共有開始

#### 4-2 「石仏ねっと」によって市民が受ける利益

臼杵市民が希望すると、以下のようなカードが渡される



「うすき石仏ねっと」のカード

カードそのものにデータが入っているわけではなく、本人が参加施設にカードを提示することで、施設側がそのカードをカードリーダーにかざすと情報を閲覧することができるというシステムです。カードを所持する個人が閲覧に同意することで、受診病院、クリニック、調剤薬局で処方された薬剤情報、歯科医院での画像データなどの個人情報を施設側と共有できることになる。あくまでも利用者本人の同意は必要ではあるが、(期限は60日) 双方向性情報共有ができる。極端な例でいうと、いつ発生してもおかしくないと言われている「南海トラフ地震」。仮に犠牲になった場合でも歯科医院による「歯式」により個人を特定することが可能となる。この他にも急性期で病院に運ばれ、今後自宅療養になる場合などは、病院のデータを介護現場に共有することで、今後の在宅ケアが受けやすくなったりするのだ。今後独居老人が増えることが予測される中、自宅で倒れ意識不明になった場合なども消防指令室でその人の医療情報を見ることができ適切な現場での処置にも役立つこととなる。最近では子育てアプリ(ちあほっと)との連携により、保護者が希望すれば、母子手帳が配布されるタイミングで「臼杵石仏ねっと」のカードが発行される。出生届の提出や乳幼児検診の際などにカードの説明を受けた上で申込してもらうことで、ほぼ全ての乳幼児にカードが発行されている。このことにより、予防接種や健診データなども管理されデータ活用が可能となる。

病名を始めとする薬剤情報などの個人情報、漏洩などが無いのか利用者としては最大の関心事である。漏洩のおそれはほぼないことがシステム面からわかる。というのも、回線自体、「うすき石仏ねっと」専用のものが開設当初から準備され、イントラネットの



形で運用されている。つまり、インターネット回線を伝って情報が外部に個人情報漏れる心配はないのだ。この点も「うすき石仏ねっと」の普及と、市民による安心が担保されていることの所以だと考えられる。

#### 4-3 地域から発信するその地域の旬な情報

番組面から見ていくと、今年10月から番組はリニューアルされ、地元で旬な話題がよりタイムリーに放送されている。

筆者は2023年11月22日、臼杵市内の普賢寺から中継する「うすき大好き」の番組リハーサルに立ち会った。まさに「紅葉」を迎えた普賢寺から、MC、カメラマン、フロアディレクター3人で中継の様子を見学した。大がかりなカメラや中継車、ケーブルなど一切なかった。携帯電話の回線を利用したコンパクトな中継であった。こうしたコンパクトな放送であれば、例えば災害時など、携帯電話がつながりさえすれば発信することは可能であり、まさに地元発信の強みにもつながる。そして、日頃からの行政との連携で、行政から必要なお知らせなどもタイムリーかつ迅速に対応することが可能となる。

2024年1月1日に発生した能登半島地震では震度7を記録し240人を超える犠牲者が出た。筆者が住む大分県内でも、いつ“南海トラフ地震”が発生するかもしれない。こうした災害時における現地の情報が貴重かつ重要であることは、今回の能登半島地震におけるニュース報道からも伺い知ることができる。災害発生時に、現場を熟知するスタッフがいち早くその模様を伝え、「何が必要なのか」「災害レベルはどうなのか」を行政に訴えることで、一刻も早い救助へとつながる。



「うすき大好き」の中継の模様  
場所：臼杵市普賢寺 2023年11月28日（火）  
キャスターの小野大輔さんと撮影スタッフ

#### 4-4 ケーブル局を拠点に「スマホ教室」を開催

ケーブルテレビ局に求められる側面として、地域の人たちとの交流拠点としての非常に重要な役割がある。毎週火曜日に開催されるスマホ教室を見学した。この日は（2023年11月28日午後2時）、8人の参加者に対し職員2名が講師を務めていた。軒並み、大手携帯電話会社がスマホの使い方や、アプリの導入の仕方などをはじめとするスマホの使い方教室を有料化していくなか、情報弱者とならないためにも、こうした地道な取り組みは利用者サービスの観点からも需要がある。こうした何気ないコミュニケーションから、地域コミュニティが今必要としている課題だったり、番組内容についての反応だったりを引き出すことも可能である。



白杵ケーブルネットで毎週火曜日に開催されるスマホ教室  
撮影日時：2023年11月28日（火）

#### 5. 考察、まとめ

白杵市は1999年から継続的に地域の情報化に取り組みつつ進化を遂げている。前述した「白杵石仏ねっと」の見学には、全国から複数の自治体が毎年訪れている。地域の医師会や薬剤師会なども連携しながら、地域の利用者が使いやすい情報化を市全体で取り組んでいる。医療DXを推進したい政府にとっても示唆に富む点が多いのではないか。今回ご紹介した「公設民営方式」を採用することで、施設維持や設備投資など非常にコストがかさむハード面を自治体が支え、一方民間が主導して番組ソフトの制作や地域コミュニティの構築、高齢者の情報格差是正の試みなどの得意分野に集中するという、お互いの利点を発揮することができる。一方、いつ発生してもおかしくない南海トラフ地震をはじめとする、危機管理面での情報管理、行政から発する情報の広報など、

行政からの情報発信も番組方式で周知広報することが可能となる。特に災害時は、ライフラインの復旧など一刻も早い的確な情報が必要となる。常日頃からの関係性もしくはコミュニケーションが重視される場所である。「地域密着」「地域限定情報」こそケーブルテレビ局に求められる機能であり、きめ細かい地域コミュニティに対する双方向の寄り添いが、いざ「災害時」に役立ちうる。携帯電話回線を使用したネットワークの軽い中継など、ローコストかつデジタル化に対応した技術の登場により、地域社会が必要とするケーブルテレビの可能性は今後も広がっていくと確信する。

謝辞 本稿を執筆するにあたり臼杵ケーブルネット株式会社技術部兼コンテンツ部部長糠塚学氏、臼杵市医師会情報管理センター小野清史センター長、臼杵市総務課 DX 推進室江川徹室長及び吉良陽平氏に大変お世話になりました。情報提供のみならず資料提供、事実関係の監修にいたるまで、お忙しい中にもかかわらず丁寧にご対応いただき改めて感謝申し上げます。

## 参考文献

大杉卓三 (2011) 「地方ケーブルテレビの自主放送番組制作における課題の研究 - 大分県のケーブルテレビの事例より -」 社会情報学研究 Vol.15No2,pp.57-66

城戸秀之 (2014.10) 「現代社会における社会空間の変容と地域情報化の社会的位相に関する試論：大分県 3 市のケーブルテレビ事業を事例として」 鹿児島大学法文学部編 経済学論集 83,p.57-74

城戸秀之 (2016.10.17) 「現代社会論からみた地域社会の認識と地域情報化に関する試論：大分県臼杵市の事例をもとに」 経済学論集 87, p. 1-21

柘植さゆり・駒木伸比古 (2023) 「地域コミュニティ再生は地域に変化をもたらすことが可能か - ケーブルテレビと若者の果たす役割に注目して -」 地域政策学ジャーナル 2023, 第 12 巻 P9-21

月刊「B-maga」編集部編『特集ケーブルテレビ 2023 地域の医療課題解決を目指す「J:COM オンライン診療」』デジタル時代のメディアビジネスマガジン /22 巻 p.32-33,2023 年

渡辺克也「ニューメディア編」(2023) 巻頭オピニオン・インタビュー (30) 「2030 ケーブルビジョン」2年ぶりに改訂 ケーブルテレビの進むべき最新の戦略的指針とは p.7-9

『ケーブルテレビの「テレビが売れない」はなぜか』(2023.9.13) 日経ニューメディア  
p.5-7

城戸秀之 (2013-10)「地域情報化における社会的位相の重要性に関する試論 - 大分県の行政ケーブルテレビ局を事例として -」鹿児島大学法文学部 編 経済学論集 (81), p1-16